

# Dynavector AKSA-H/L 取扱説明書

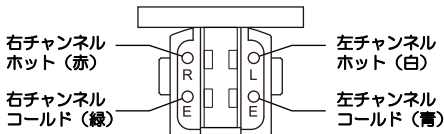
このたびは、ダイナベクターMCカートリッジASKAをお買い上げいただき誠に有難うございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## ■ 特徴

アナログ再生の専門メーカーとして長年にわたり製品づくりを続けてきたダイナベクターは、理論に基づく設計と独自の技術開発を積み重ねながら、MCカートリッジによるアナログ再生の更なる可能性を追求し続けています。MCカートリッジASKAは、そうしたハイエンド思想をそのままに、より多くの方にMCカートリッジの魅力を体験していただくために誕生したエントリーモデルです。上位モデルで培われた設計思想とクラフトマンシップを受け継ぐ事で、ダイナベクターならではの伸びやかで低歪みなサウンドと低価格を両立しました。

## ■ 接続方法

ピンセット等を使用し、各端子をリード線でヘッドシェル端子にしっかりと接続します。端子ピン径は1.2mmです。1.0mmのコネクタは入らないのでご注意ください。間違った径のコネクタを無理に差し込むと、端子ピンやリード線を破損する場合があります。配線に際して半田付けは絶対に避けてください。線材の内部断線の原因となります。



## ■ ヘッドシェルへの取り付け

付属のネジを用いてカートリッジをシェルに取り付けます。適合のネジサイズはM2.5です。取付け部分が緩んでしまうと正しい再生が行われなかったり、カートリッジやレコードを傷めてしまうことがありますのでご注意ください。取り付け位置はご使用のトーンアームのオーバーハングに合わせます。詳しくはトーンアームの取扱説明書を参照ください。

## ■ 出力電圧

高出力モデルのAska-Hは2.8mVの出力がありますので、MMカートリッジと同様にPHONO入力にそのまま接続します。(MC昇圧トランスやヘッドアンプは不要です) 推奨負荷抵抗は1,000Ω以上で、MM用の47kΩにて使用可能です。低出力モデルのAska-LはMC昇圧トランスもしくはヘッドアンプを使用するか、MC入力の端子に接続します。推奨負荷抵抗は30Ω以上です。

## ■ 針 圧

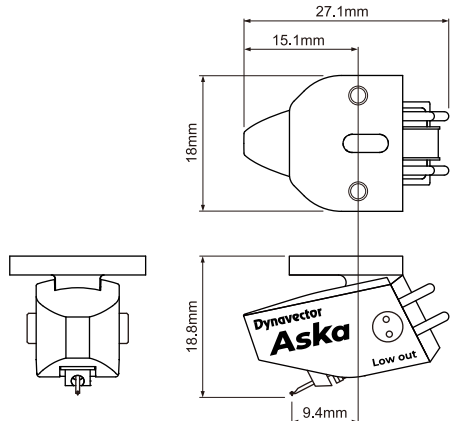
適正針圧は1.8~2.2gで、室温20℃が基準です。室内温度が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。

## ■ 針先のクリーニング

針先はカートリッジの性能を左右する大変デリケートな部分ですので、取り扱いにはご注意ください。針先の汚れは付属のスタイラスブラシなどで根本から針先に向かって軽く払うようにクリーニングしてください。クリーニング液を使用する場合は、ノンアルコールタイプのクリーニング液を推奨します。クリーニング液はつけ過ぎず、特にダンパーゴムに付着しないようにしてください。クリーニング後は、針先の水分が十分乾いてから使用してください。

## ■ 針交換

針先が磨耗した場合は、お買い上げいただいたお店宛にお送りください。針交換価格にて新品とお取換え致します。



## 仕 様

形 式	: 高出力 / 低出力MCカートリッジ フラックスダンパー& ソフト化マグネット
出力電圧	: 2.8mV / 0.3mV (1kHz, 5cm/sec.)
周波数特性	: 20~20,000Hz (±2dB)
チャンネルバランス	: 1.0dB以下/1kHz
チャンネルセパレーション	: 25dB以上/1kHz
コンプライアンス	: 12mm/N
インピーダンス	: 150Ω / 5Ω
スタイラス	: 楕円
カンチレバー	: 6mm長 硬質アルミニウムパイプ
針 圧	: 1.8~2.2g
推奨負荷抵抗	: 1,000Ω / 30Ω以上
重 量	: 5.8g

## ダイナベクター株式会社

〒101-0031 東京都千代田区東神田3-2-7  
TEL 03(3861)4341 FAX 03(3862)1650  
<https://www.dynavector.co.jp/>